

発売のお知らせ

—大給付時代到来！ 複雑な制度と現場を知悉したジャーナリストによる待望の書

企業年金再生

～老齡大国を襲う危機の構図と
生き残りの方策～
永森 秀和 著
日本経済新聞出版社刊



「資産運用失敗」「給付減額」のリスクにどう立ち向かうか。
世界的に国の年金が後退する中で、老後の安心の鍵を握る
企業年金の実態と展望を解説。

◇ 目次 ◇

序章 老齡大国 なぜ企業年金か

第1章 企業年金の新しい現実

- 1 量産される投資家／2 期待と不安『リスク』／3 企業年金の正体
／4 企業年金は必要か／5 年金政策の胎動／6 大給付時代の到来

第2章 波乱の歴史と構造変化

- 1 企業年金の成り立ち／2 改革の系譜／3 危機と会計

第3章 確定拠出年金の理想と現実

- 1 制度の骨格と論点／2 アマチュアが挑む年金運用／3 教育は個人を変えたか
／4 給付実態その他

第4章 確定給付年金と遠い約束

- 1 伝統制度の変貌／2 受給権と年金リストラ／3 機関投資家の保守と革新

第5章 企業年金 再生の条件

- 1 老後の真実／2 年金と老後の再生

著者紹介

永森秀和

格付投資情報センター(R&I)編集部長兼「年金情報」編集長

1965年生まれ。R&I入社後、格付アナリスト、日本経済新聞社記者(出向)を経て、資産運用と退職給付制度の専門誌「年金情報」の編集に92年より携わり、2000年に同誌編集長に就任。以後、通算10年にわたり編集長を務める。07年に「ファンド情報」を創刊、同誌編集長を09年まで兼務。07年より編集部長。(社)日本証券アナリスト協会検定会員。

著書:『企業年金の真実』(2003年、共著、R&I)ほか。

定価2310円(税込み) 46判270頁 日本経済新聞出版社
好評発売中 全国書店、ネット書店でお買い求めください